

—いのち、くらし、平和が大事！—

日本共産党京都市議会議員

# 山本 陽子 活動ニュース

VOL.22 2017年4月30日号

連絡先 日本共産党山科区生活相談所 山科区西野大手先町8-8 ☎595-8342



春ですね！

山本陽子 活動ニュース



## 共謀罪に反対する市民集会

**自** 由法曹団の弁護士さんによる、『共謀罪が創設されたら……』の寸劇、山下幸夫弁護士（日弁連共謀罪法案対策本部事務局長）や、原田宏二さん（元北海道警察警視庁長官）による講演がおこなわれました。

原田さんのお話では、共謀罪の創設は「警察権限の強化」だと指摘されます。刑事訴訟法189条2項は「犯罪があると思料するとき」に捜査を開始することができるとするものを、共謀罪が創設されれば「犯罪」の前でも捜査をすることを認める、という警察権限の強化だといいます。近年日本の犯罪状況は平成14年をピークに大きく減少しているもとの、必要はないものだ、とも。逆に、国に対して批判的な主張をする者には、一般人でも主義主張をする者として共謀罪を適用して抑圧していく手段に使われるのではないか、お話からそんな危惧を強くしました。共謀罪、NO！

## 民泊がまちを変えていく…

**東** 山区民の方で民泊問題でお困りの方の相談をお聞きしています。

100年以上前に建てられた京町家を活用し、民泊を営業しようとするものの、そのための改修工事がずさんで、隣家が被害を受けておられます。また、町内会が高齢化し世代継承がおこなわれないうちに、不動産会社が家屋を買取り、住人のいない民泊が増えていきます。このままでは地域が成り立たない、という悲鳴があがっています。

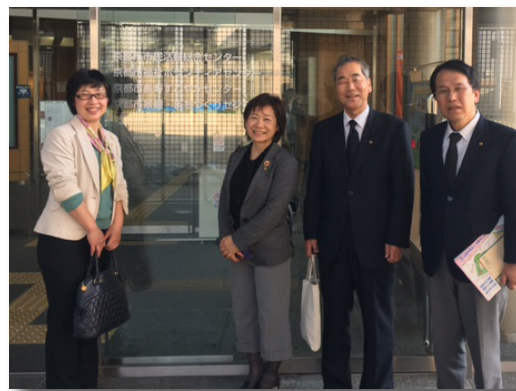
京都市は、観光客誘致のために民泊を推奨するのではなく、京都の未来を守る住宅政策、まちづくり政策をすすめていかなければなりません。民泊の問題は、該当地域だけの問題ではなく、空き家が増えていく京都のまちなかをどのように引き継いでいくかが試されている問題と感じます。このままでは、『まち壊し』になってしまうのではないのでしょうか。



## 教育福祉委員会の委員になりました！

**2** 年間、都市計画局や、建設局を所管するまちづくり委員会の委員をさせていただきましたが、今年度は新たに教育福祉委員会の所属となりました。

早速、新メンバーで関係団体の挨拶まわりをさせていただきました。京都府保険医協会、京都市社会福祉協議会、京都市身体障害者団体連合会、全国福祉保育労働組合京都地方本部、京都ライトハウス、シルバー人材センター、生活と健康を守る会、きょうされん、京都難病連などなど……。各種団体のみなさんからは、補助金が年々減らされているという訴えが複数ありました。



医療、福祉、介護、保育、現場を知る皆さんに実態をお聞きして、議会に反映させられるようがんばります！！



この四月で、<sup>たけふみ</sup>岳史君はピカピカの一年生。和歩ちゃんも三年生になりました。学校に弟と一緒にいることが新鮮なお姉ちゃん。だけど弟がいることで気も遣います。入学式前から預かっていただいた学童保育。弟は初めての環境でとっても不安。姉に「いつもそばにいてほしい」と言います。ところが三日目の朝、和歩が急に泣き出しました。岳史君がずっと一緒にいて、とやうので、私はお友達と遊ぶことができない、と言います。弟はそんな姉の泣く姿を見ても、「和歩が近くにいるほしい」と言い張ります。と、そんなこともあって、先生も察していただいたのか、一・二年生と三・四年生、行動を分けた取り組みをしていただいたりして、和歩ちゃんもお友達と遊ぶことができるようになりました。姉弟で協力してがんばってもらうことも増えてきました。先日は、初めてのおつかいを二人に頼みました。近くのコンビニへは行ったことがあるけど、信号を渡って行かなければならないスーパーへは初めてのおつかいです。おやつを買うお駄賃も含めてお願いしました。夕方、強風が吹きすさぶ天気なのが無事に帰って来ました。「残ったおつりを返して」というと「岳史と半分に分けたわ」……お駄賃のおやつ代にプラスして使ったようです。ちゃっかりしています。もちろんおつりは返すルールなんです……。

## ヨココの ママチャリ 子育て日記

それぞれの四月

